



〒010-0521 男鹿市船川
港南平沢字上大畑台 30
男鹿市立男鹿南中学校
TEL 0185-23-3241
FAX 0185-24-4947

第208号

「これだけは人に負けないという強みをもちなさい！」 ～第1回「町の先生」初代校長 小玉啓太郎氏 大いに語る！～

校長 栗森 貢

6月8日、創立25周年記念事業の第2弾として、南中初代校長の小玉啓太郎氏(85)をお招きし、第1回「町の先生」を行いました。

「南中創立時を振り返って」と題した講演では、船川中学校が椿中学校との統合に当たって服装の乱れを正すために、家庭と協力したり、強硬な手段を取ったりと大変苦労したことを話されました。結果として、男鹿南中の制服がこのような経緯でブレザーになったことを生徒たちは初めて知りました。

☆入学式は食堂で、運動会は陸上競技場で、文化祭は玄関前で行った！

開校当時は、体育館がなく、またグラウンドも完成していないことから、入学式は食堂で行い、運動会は市営陸上競技場を借りて行いました。文化祭も体育館が建築中だったので、生徒玄関前をステージにして歌や吹奏楽部の演奏を披露しました。

☆修学旅行先で、変形服を脱がない生徒はディズニーランドに入れない！

学校のルールを守れない生徒には、誰が何と言おうと厳しい罰則を与えました。徹底して「だめなものはだめ。」という考え方を貫きました。小玉先生は、「形を整えば、心自ずから従う」という言葉をよく話され、姿や身なりを整えることは人としての基本であることを力説していました。

☆なぜ、オープンスペースはグラウンド側にいくに狭くなっているのか？

学校を建築するに当たって総面積は変えることができないが、どうしても図書館を作るスペースが必要でした。そこで、各階のオープンスペースを狭くする代わりに、食堂脇に「図書コーナー」を設ける広さを確保することができたのです。この話は私も知らない話で、興味深く聞きました。

このような内容を生徒に分かりやすく話される小玉先生の姿は、85歳とは思えない凛とした張りのある声で、現役時代の姿を見る思いでした。特に、「人生において、これだけは誰にも負けないものをもつことが大事である。」という言葉は多くの生徒の心に響いたようです。南中に対する愛校心が少しでも芽生えてもらえれば、目的が達成できたと思います。



←85歳とは思えない凛とした姿の小玉先生



→
生徒代表の3年仲村明子さんから花束を受け取る小玉先生

【生徒の感想】 1年 鎌田 ひかるさん

私は今回、小玉先生のお話を聞いて、「南中には先生のような思いが込められているんだなあ。」と思いました。図書コーナーのために多目的スペースの分を削ったり、家庭科室の位置を工夫したり、先生の学校への思いが伝わってきました。

そして今回、心に残った言葉がありました。「『これだけは誰にも負けない』というものを一つもつことが生きるための自信になる。」という言葉です。これからこの言葉を大切にしていきたいです。本当にありがとうございました。

男鹿潟上南秋中学校総合体育大会、厳しい戦い！



